

2022年度 日本工学院専門学校											
建築学科											
高度建築生産											
対象	4 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	赤石辰夫			実務経験	有	職種	施工管理／一級建築施工管理技士				
担当教員紹介											
建設会社で現場監督として勤務し、2 階建ての信用金庫支店から 1 4 階建ての高層住宅まで様々な施工管理を担当。また超高層 RC 造の技術開発にも参加し、日本建築センターの技術評定でも施工を担当した経験を持つ。											
授業概要											
建築施工の仮設計画の1つである作業構台を例題とし、仮設計画の立て方や構造設計について学び、基礎知識の復習を行う。また、実際の1級建築士の問題を解きながら、より高度な国家資格試験にも対応できるようになるための専門性の高い知識を学ぶ。											
到達目標											
大型建築を施工するためには、その部材設計から判断して工事の施工計画を立てることが必要であり、そのための仮設計画も構造計算を行って確認をしなければならない。したがって、仮設工事についても演習を行い、1 級建築士試験問題に挑戦して問題を解いたりして、施工に関して高度な技術に関する知識について理解し、卒業後にも建築人としての一般常識として活かせる知識を持つことが目標である。											
授業方法											
目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。											
成績評価方法											
試験・課題	40%	試験と課題を総合的に評価する									
小テスト	40%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
特に1・2年生で学んだ知識が基本となるので、わからないことについては振り返って学び直すこと。また、構造の知識と密接に関連しているので、総合的に理解をするように努力すること。											
教科書教材											
参考書・参考資料等は、授業中に指示する											
回数	授業計画										
第1回	構造設計の復習	作業構台の計画、大引きの部材算定による設計			作業構台の根太、鋼板の部材算定						
第2回	生産システム概論	プロセス、仕組み、役割と業務内容について学ぶ									
第3回	1級建築士講座 1	木材の物性などの理解									
第4回	1級建築士講座 2	木造構造部材の算定									
第5回	1級建築士講座 3	コンクリートの物性の理解			鋼材の物性の理解						

2022年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
高度建築生産	
第6回	生産システム各論 入札、施工、維持管理など各段階での業務について学ぶ
第7回	1級建築士講座 5、6 RC造構造部材の算定、RC造の設計条件などの理解
第8回	1級建築士講座 7、8 RC造の鉄筋工事の理解
第9回	1級建築士講座 9、10 RC造のコンクリート工事の理解
第10回	建設業界の倫理 欠陥工事や偽装など建設倫理について学ぶ